

有機農業・環境  
保全型農業部門

農産局長賞

# 有限会社大塚ファーム

所在地	北海道石狩郡新篠津村
応募分野	生産
面積	17.2 ha
構成員	20人
栽培品目	ミニトマト、ダイコン、ズッキーニ 他

## 取組の紹介

### 有機農業・環境保全型農業に取り組んだきっかけ

- 農薬の使用でアレルギーが発症したことにより、農薬を使わない農業に転換し、H9年に仲間6戸で(株)オーガニック新篠津を設立後、有機農業を本格的に開始。
- 関東の外食産業との取引を開始後、販路を拡大し、H13年には有機JAS認証を取得。現在は農福JASやGGAPも取得している。

### 環境負荷低減に資する取組

- 外食産業の事業者の生ごみをたい肥化するリサイクル事業の取組や、近隣の市の生ごみや地域のピートモス(泥炭土)、鶏糞、馬糞等を活用した有機肥料を施用するなど、地域資源循環型の有機農業を行っている。
- 有機野菜の残渣を近隣の町の有機養鶏場にエサとして無償で提供。
- 水稻栽培においてJクレジットの発行や、太陽光パネル・蓄電池の活用に取り組み、米の乾燥施設やハウスの電力を賄うなど脱炭素化を推進。

### 効率的な生産に向けた取組

- 水稻の除草作業の効率化に向けてアイガモロボットを活用。また、トラクターや田植機に自動操舵システムを取り付け、経験の浅いスタッフが作業しやすい環境を整えている。
- ソフトやアプリを効率よく活用することで、労働力不足の解消や人件費の削減に取り組む。
- ドローンや収穫機、自動梱包機の導入により労働時間を削減。

### 安定出荷・販路確保の取組

- 北海道から沖縄まで約60社の取引先に年間を通して有機農産物や有機加工品の販売を行っている。また、香港にも有機ミニトマトを輸出。
- 干し芋等のお菓子や野菜スープ、規格外品を活用したドッグフードなど、自社の加工施設や委託にて加工品を製造。

### 消費者等への情報伝達の取組

- 地元の学校給食に有機野菜を提供。また、子ども食堂、児童養護施設等にも無償提供を行っている。
- 関西圏の高校の修学旅行生のファームステイの受け入れや農業体験の受け入れ。
- 「取り組みの見える」農業を目指し、インスタグラムなどのSNSを毎日更新。



さつまいもの収穫



加工場の太陽光発電



干し芋の加工作業



農業体験の様子